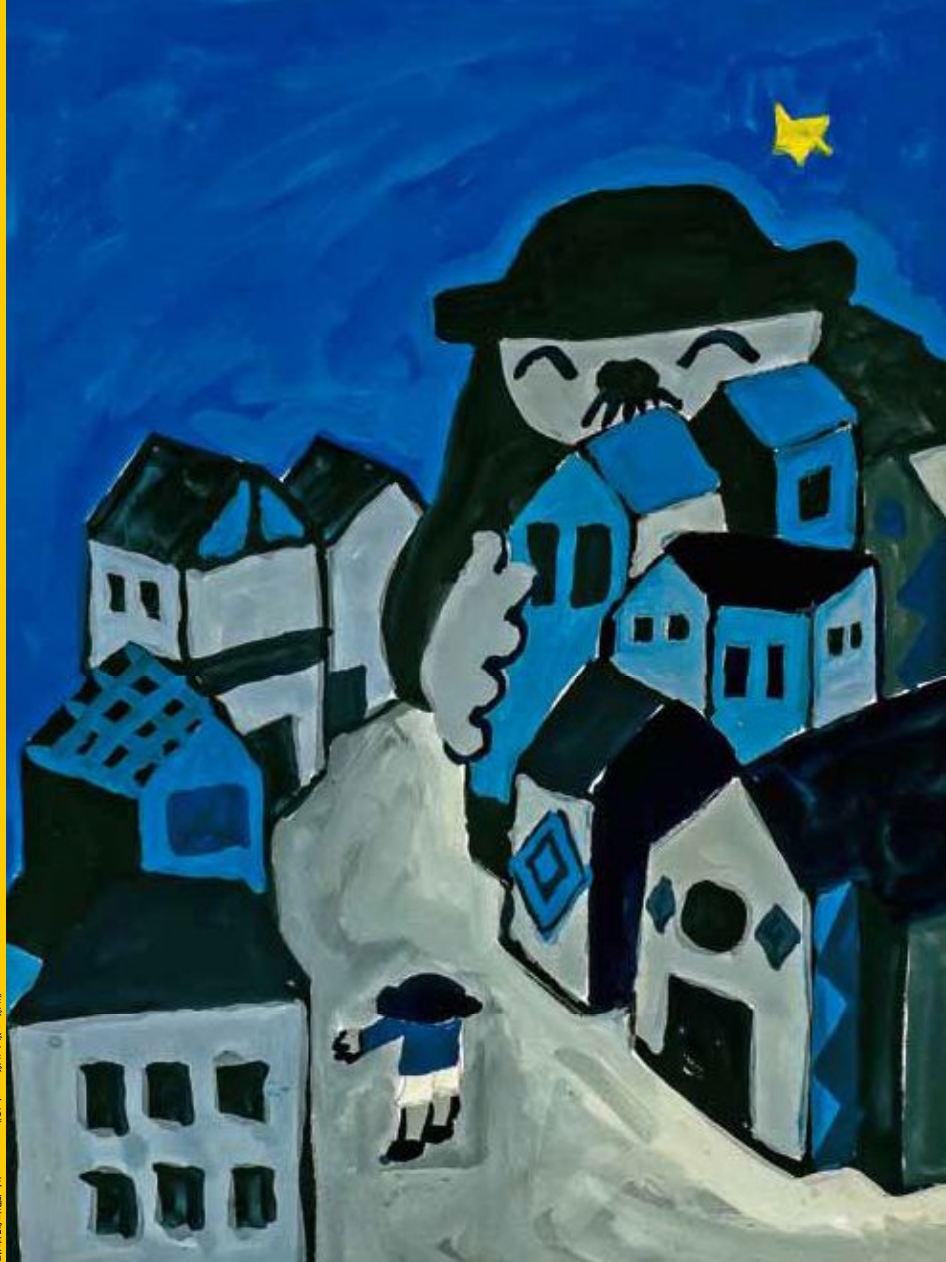


刈谷市美術館コレクション

井上洋介 絵本の世界

『くまの子ウーフ』もやってくる！



図書刊行部 図書課 井上洋介 氏 提供

2016年

1月23日土



3月21日月・祝

休館日 月曜日 ※3月21日(月・祝)は開館

開館時間 9:30 - 17:00

観覧料 1,000円(800円) 高校生以下無料 ()内は前売りまたは20名以上の団体料金

※前売り券は、ふくやま美術館ミュージアムショップ、JR福山駅観光案内所などで1月22日(金)まで販売しています。

※前売り券販売所は、ふくやま美術館ホームページまたは、ふくやま美術館までお問い合わせください。

主催 (公財)ふくやま芸術文化振興財団 ふくやま美術館、福山市教育委員会、中国新聞備後本社

企画協力 刈谷市美術館

協力 (株)広島こどものとも社



FUKUYAMA MUSEUM OF ART

ふくやま美術館



《くまの子ウーフ》部分1969年
神沢利子作 ポプラ社





▲『いもよって』2011年



▲『ふりおけばねこ』1984年



▲『馬の草子』2012年



▲『おだんごばん』1960年 瀬田貞二訳



●『くまの子ウーフ』1969年



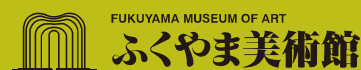
■『アナボコえほん』1986年

●…ポプラ社刊 ▲…福音館書店刊 ■…フレーベル館刊



[交通案内]
JR福山駅北口から西へ400m
山陽自動車道 福山東インターから車で20分
駐車場 68台 (有料)

[お問い合わせ ぷくやま美術館]
〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
☎ 084-932-2345 FAX 084-932-2347
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/>



つぶらな腫で丸々とした身体の、吊りズボンをはいている子熊。
童話『くまの子ウーフ』(作: 神沢利子 1969年 ポプラ社)の主人公といえば、こんな姿を誰もが思い浮かべることでしょう。

この子熊を描き出したのは、漫画家、画家、イラストレーターとして知られる井上洋介(1931-)でした。

井上は、武蔵野美術学校(現・武蔵野美術大学)に在学中、長新太らに漫画家としての才能を高く評価され、1965年には、第11回文藝春秋漫画賞を受賞しています。1960年、29歳の時、初めての絵本、『おだんごばん』(訳: 瀬田貞二 福音館書店)を手がけ、その後、人気の『くまの子ウーフ』の挿絵を担当することになります。また、1990年からは、『まがればまがりみち』(福音館書店)など自作の絵本にも積極的に取り組み、2001年には、『でんしゃえほん』(ピリケン出版)で第6回日本絵本賞大賞を受賞することになります。井上の漫画家として培ってきたユーモアのセンスと豊かな想像力を絡み合わせた奇想天外な絵本の世界は、大人の感性をも刺激するとして注目されたのです。

本展は、刈谷市美術館のご協力により、そのコレクションである『おだんごばん』『くまの子ウーフ』をはじめ、初公開となる『ものうり草子』(2015年 福音館書店)などの絵本、童話の32タイトルにおよぶ原画約300点を展示し、絵本作家・井上洋介の魅力に迫るものです。



▲『ものうり草子』2015年



●『くまの子ウーフ』1969年



■『ぐるぐるえほん』1981年



●『あかいそりにのったウーフ』1982年 神沢利子作



●『くまの子ウーフ』部分 1969年

関連イベント

記念対談

「だから、井上洋介の絵本は面白い！」

出演 土井章史(トムズボックス代表・絵本編集者)
× 松本育子(刈谷市美術館館長代理)

日時 2016年1月23日(土) (13:00開場/14:00開演)
会場 1階ホール
定員 150名 先着順・聴講無料

展覧会よもやまばなしとギャラリートーク

展覧会ができるまでの裏話と作品解説

講師 当館学芸員

日時 2016年2月6日(土)、2月20日(土)、3月5日(土)、3月19日(土)
14:00~

会場 1階企画展示室

*当日の特別観覧券が必要です

★幼稚園、保育園の団体観覧大募集!★

園の冬の思い出作りに暖かな美術館でのひとときはいかがでしょう?

絵本の読みきかせ等、ご希望に応じて対応いたします。

お問い合わせ(ぷくやま美術館)

電話 084-932-2345 FAX 084-932-2347